US Easy Fit Wage Ver2.10

総合解説書(抄本)

本書は US 最適賃金上級版の総合解説の抄本から、最適賃金とマトリクス昇給の仕組みの解説資料として編集されていますので、上記と直接関係しない個所は省略しています。



多奖量源析效应型

For Windows XP, Vista, 7

2014年2月10日 第 I 版発行

【ご注意】

- 1) 本書の操作画面は Windows XP 仕様で統一されています。
- 2) 本書は著作権法により保護されていますので、本書の無断複製および転載はご遠慮願います。

【ご連絡先】

| | 会社名 | 担 | 当者 | 電話 | FAX |
|--------|----------------|-------|------------|-------------------|--------------|
| | US 賃金研究所 | 八田 | 清久男 | 0729-20-2363 | 0729-20-2365 |
| 開発&発売元 | 大阪府八尾市太田6丁目287 | E-mai | l : reg-an | a.kikuo@nifty.con | n |
| | 〒581-0037 | URL : | http://ho | omepage3.nifty.co | om/sdx3w/ |

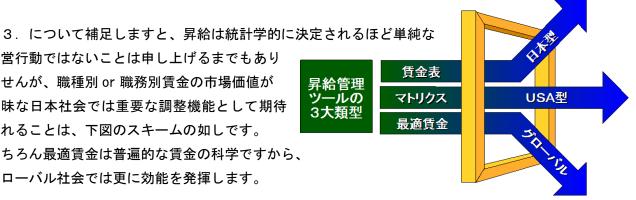
は ľ 12 め

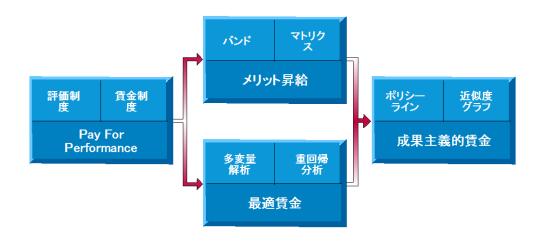
本アプリケーションの特色につきまして

本アプリケーションは、2007年9月にリリースされたUSメリット賃金シリーズの後継バージョン です。事業発足以来、プロット図と賃金カーブが上質で高機能であることはご好評を頂いておりますが、 今日では単にビジュアルな使い勝手の良さだけでなく、革新性を併せ持つ総合的な賃金管理ソフトに 仕上がっております。

さて今回から多変量解析で最適賃金を計算するシステムを付加しましたので、昇給管理ツールとして 従来の賃金表とマトリクス昇給ガイドに加えて、3つの選択肢から随時、個人別に選択できるようにな りました。もちろんフリーハンドで昇給することも可能ですし、複数のツールを併存して使い分ける ことも可能です。以上の本節を整理して図示すると下記の様になります。

- 1. 段階号俸表の中で、評価査定に対応して号俸を上げて行く日本型の昇給方式
- 2. バンドの中で、評価査定に対応してマトリクス昇給ガイドの昇給率を適用する米国型の昇給方式
- 3. 多変量解析で最適賃金を計算した結果で
- 4. ツールを一切使用せずにフリーハンドで昇給する方式。
- 経営行動ではないことは申し上げるまでもあり ませんが、職種別 or 職務別賃金の市場価値が 曖昧な日本社会では重要な調整機能として期待 されることは、下図のスキームの如しです。 もちろん最適賃金は普遍的な賃金の科学ですから、 グローバル社会では更に効能を発揮します。





職種別賃金表対応につきまして

職種別に複数の賃金表を登録し、社員の職種に対応して使い分けて昇給管理に活用する、一定規模以上の企業を想定したいわゆる職種別賃金にも対応しています。その対策として賃金表だけでなく、

- 1. プロット画面の検索システムにも工夫を凝らしまして、より細かなグループ毎に絞って分析&設計を可能としています。
- 2. 職種グループ毎の等級名称を登録する
- 3. 職種グループ毎に設計した賃金カーブを分析する
- ことにも配慮しています。

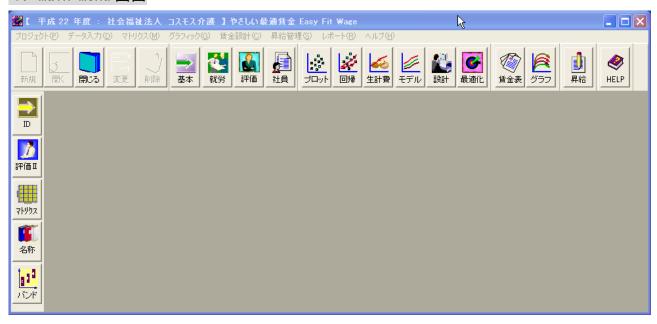
ただし、小規模企業で活用して頂くことも考慮し、単一の賃金表または賃金表を作成しない賃金管理にも対応しています。

なお、賃金表を中央値から設計する方式等は従来のバージョンと共通仕様となっています。

序章 インストール

【ご注意】抄本に付き本章は一部省略しています。

4. Main Menu 画面



4-1 メニューバーの項目は左端から順に以下の8つです。

1. プロジェクト・・・・・・・・・・・ 企業の登録と管理

2. データ入力・・・・・・・・・・・・ 社員の登録と管理

3. マトリクス・・・・・・・・・・・・ マトリクス昇給システム

4. グラフィック・・・・・・・・・・・ プロット画面システム

5. 賃金設計・・・・・・・・・ 賃金表の作成と管理

6. 昇給管理・・・・・・・・・・・・・ 本年度の昇給入力と年度更新

8. ヘルプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 操作説明とご利用案内

- 4-2 スピードボタンは画面左端から順に、以下の24個です。
 - 1) プロジェクト関係のグループ

「新 規」新規プロジェクト(企業)登録

「開く」プロジェクト(企業)を開く

「閉じる」プロジェクト(企業)を閉じる

「変 更」プロジェクト(企業)の登録内容を変更する

「削 除」プロジェクト(企業)を削除する

2) 基本情報を登録するグループ 「基本」基本設定フォームを開く



閉じる

変更

削除

新規

- 「就 労」就労形態&賃金構成の登録フォームを開く
- 「評 価」全員共通の評価段階の登録
- 「社 員」社員個人情報を入力する
- 3) プロット画面関係のグループ

「プロット」基本的なプロツト画面

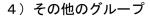
「回 帰」基本的な回帰分析グラフ

「生計費」標準生計費と比較するグラフ

「モデル」モデル賃金と比較するグラフ

「設計」フリーハンドで賃金カーブを設計する

「最適化」多変量解析で賃金計算する



「賃金表」職種別に賃金表を作成する 「グラフ」賃金表を分析するグラフです 「昇 給」社員の賃金を昇給します 「HELP」アプリのご案内と解説です

5) マトリクス関係のグループ

「ID」単一 or 複数のマトリクス ID を登録します 「評価Ⅱ」マトリクス対象者用に役割評価段階を登録 「マトリクス」マトリクス昇給ガイドを登録します。 「名 称」バンドの名称を登録します

「バンド」バンドに賃金額を入力します









第Ⅰ章 プロジェクト

【省略】抄本に付き本章は一部省略しています。

1:プロジェクトに関するメニュー

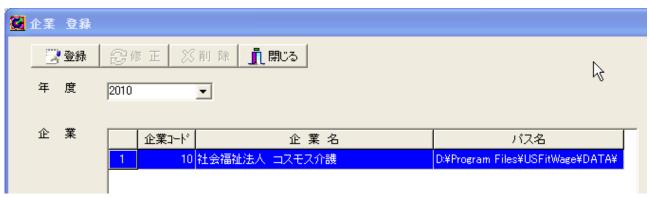
主にプロジェクト=企業に関する情報を入力する画面のメニューが 並んでいます。このセクションのメニューは以下の13個があります。

- 1. 新規作成………………………… プロジェクト(企業)を新規に登録。
- 3. 閉じる ……………………… アクティブな企業を閉じる。
- 4. 変更 ………………………………………………………… 登録した企業の設定を変更する。
- 6. 基本設定 …………………………………………………………企業の詳細な設定を管理する。
- 7. 就労形態 -------------------------社員の就労形態と賃金構成を登録
- 8. 評価 ………………………………………………全社員共通の評価段階を登録
- 9. プリンタ設定…… 接続プリンタの印刷設定をする。
- 10. 社員情報取り込み…………外部ファイルからデータを取り込む。
- 11. 社員マスタ出力……………社員情報の外部ファイルを形成する。
- 12. データベース圧縮……………データファイルの肥大化を防止する。
- 13. ライセンス登録……………アプリケーションのライセンスを登録する。
- 14. 終了 ……………………… アプリケーションを終了する。

1-1. 新規作成

メニューバー:プロジェクト⇒新規作成

【画面 1-1-1 新しいプロジェクト(企業)の年度選択】



- 1) 年度を選択します。
- 2) 登録ボタンを押して画面 1-1-2 に入ります。





【画面 1-1-2 新しいプロジェクト(企業)の登録内容】

- 3) 企業名称を入力します。
- 4) 賃金等級の名称を登録します。
- 5) モデル賃金の番号を選択します
- 6) 生計費の番号を選択します。
- 7) 時間給計算用のデータ入力します(任意)
- 8) 最後に[登録]ボタンを押して完了します。

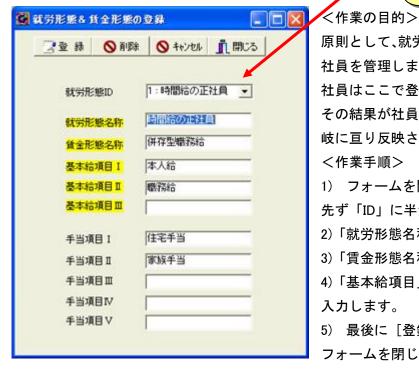
【ポイント】ここは全社共通の等級名称であり、職種別の等級は別途登録します。
不要な等級は削除してください。

1-7. 就労形態の登録

メニューバー:プロジェクト⇒就労形態

【画面 1-7 就労形態&賃金形態の登録】

編集するとき はリストから 選択します



原則として、就労形態と賃金体系を1対1対応させて、 社員を管理します。

社員はここで登録された ID を選択し、

その結果が社員の賃金体系から検索カテゴリまで、多 岐に亘り反映されます。

く作業手順>

- 1) フォームを開くと登録モードになっているので、 先ず「ID」に半角数字を入力します。
- 2)「就労形態名称」の入力は任意です。
- 3)「賃金形態名称」は必須です。
- 4)「基本給項目」と「手当項目」を 入力します。
- 5) 最後に[登録]ボタンを押して、 フォームを閉じます。

1-8. 評価の変換

メニューバー: プロジェクト⇒評価 <このフォームの操作説明>

- 1) Combo Box から賃金表を選択します。 最初は賃金表がないので「0:なし」 から入力します。
- 2) 自社の「評価記号」を入力します。 本例は5段階ですが、何段階でも設定 できます。
- 3) 「昇号数」に半角数字を入力します。 賃金表がないときは不要です。
- 4) 以上の操作を終えますと、 [登録] ボタン で確定します。
- 5) 最後に「閉じる」ボタンで終了します。

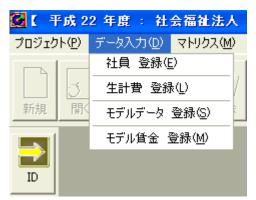
【画面 6-3 評価の変換フォーム】



【ご注意】評価記号のテキストは任意です。新しい行に入力するときは [Enter] を押してください。 評価コードは自動入力となっています。使用する賃金表毎に異なる登録が可能です。

第Ⅱ章 データ入力

【省略】抄本に付き本章は一部省略しています。



2:データ入力関係のメニュー

社員情報と比較資料の登録をするセクションです。 このセクションには以下4個のメニューがあります。

- 2-1. 社員 登録…………………………… 社員の人事・賃金データ登録
- 2-2. 生計費 登録……………………………… 生計費の登録と編集
- 2-4. モデル賃金 登録………………… モデル賃金データの登録と編集

2-1. 社員データの登録

メニューバー:データ入力⇒社員 登録

【画面 2-1-1 社員データの入力画面】



<パネル① 基本情報>

- 登録済みの社員データを一部修正したいとき⇒
 上書きして修正後に「修正」ボタンをクリック
- 2) 登録済みの社員データを削除したいとき⇒ [削除] ボタンをクリック
- 新たに社員データを登録したいとき⇒
 [キャンセル] ボタンをクリックすると追加登録モードになります。

登録後に[登録]ボタンを押して確定します。

【ご注意】フォームの黄色ラベルは必須の入力データです。

新規登録では、先ず Combo Box「社員コード」に連番の数値を入力します。

<パネル② 賃金情報>

【画面 2-1-3 賃金情報の入力画面】



- 1) 着色されていない、白い Text Box に入力します。
- 2) ラジオボタン [マトリクス] は、マトリクス昇給ガイドとリンクする基本給項目です。 本例の場合二番目の「職務給」を選択していますが、基本給の何れの項目を 選択しても、マトリクス昇給ガイドとリンクされます。

(ただし事前にマトリクス昇給ガイドを作成しておく必要があります) [解除] ボタンでリンクを解除します。

<パネル③ 賃金情報2>

【画面 2-1-4 賃金情報 2 の出力画面】



- 1)「最適賃金」は計算結果を出力しています。
- 2)「昇給履歴」は年度更新 する度に出力されます。 ただし入力も可能です。

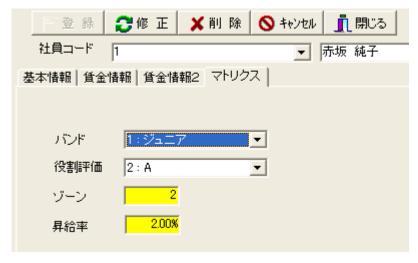
<パネル④ マトリクス>

【画面 2-1-5 マトリクスの入力画面】

マトリクスにリンクしない社員はこのパネル操作はスキップします。

- 1)「バンド」を選択します。
- 2)「役割評価」を選択します。 役割評価はマトリクス昇給ガイド と連動する評価ですから、

パネル①の評価から独立しています。



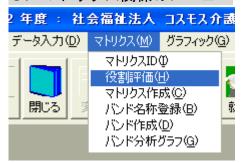
【ご注意】等級選択とグリッドについて

| <u></u> | ≨級 ○ 全で | 〇 1等紀 | 汲 〇 | 2等級 | 0.3 | 等級 🧿 | 4等級 | ○ 5等級 | ○ 6等級 ○ | 7等級 〇 8 | B等級 C | 9等級 |
|---------|------------|-------|------|-----|-----|------|-----|-------|---------|---------|-------|-----|
| | 社員コード | 社員番号 | 1 | 氏 名 | | 年 齢 | 勤 続 | 役 職 | 本年評価 | 資格等級 | 号 俸 | ゾーン |
| 1 | 10 | 1010 | 越路, | 典子 | | 46 | 17 | 係長 | С | 4 | 0 | 1 |
| 2 | 18 | 2008 | 辻本 著 | 喜久男 | | 54 | 14 | 課長 | В | 4 | 0 | 1 |
| 3 | 19 | 2009 | 天馬 引 | 37 | | 47 | 19 | 課長 | В | 4 | 0 | 1 |
| 4 | 20 | 2010 | 鳥取る | 建造 | | 46 | 22 | 部長 | С | 4 | 0 | 1 |

いま4等級を選択すればグリッド=表には4等級の社員だけが並びます。いま10番の社員をハイライトすればフォームには10番の社員が表示します。

第Ⅲ章 マトリクス

3. マトリクス関係のメニュー



マトリクス昇給ガイドで昇給管理する ためのセクションです。

マトリクスを使用しない企業には、

設定不要のセクションです。

このセクションには以下のメニューがあります。

| 3 — 1. | マトリクス ID | 複数以上のマトリクスを管理する |
|--------|----------|---------------------|
| 3-2. | 役割評価 | マトリクス適用者専用の評価段階 |
| 3-3. | マトリクス作成 | 昇給率を入力してマトリクスを完成する |
| 3 - 4. | バンド名称登録 | マトリクス適用者専用の等級名称 |
| 3 — 5. | バンド作成 | 等級にレンジを設定してバンドを完成する |
| 3 - 6. | バンド分析グラフ | 作成したバンドをグラフで分析する |

3-1. マトリクス ID の登録

メニューバー:マトリクス⇒マトリクス ID

<作業の目的> 本アプリケーションは複数のマトリクス昇給ガイドを運用します。 もちろん単一のマトリクスでも運用に支障はありません。

| | 登録 | ji 閉じる | | |
|---|----|------------|--------|------|
| | ID | 名称 | 定義 | ゾーン数 |
| 1 | 1 | Non-Exempt | 時間給労働者 | 5 |
| 2 | 2 | Exempt | 裁量労働者 | 5 |

<作業手順>

- 1) フォームを開くと登録モードになっているので、先ず「ID」に半角数字を入力します。
- 2)「名称」を入力します。
- 3)☆「定義」を入力します。
- 4)「ゾーン数」は3から5の半角で。

3-2. 役割評価の登録

メニューバー:マトリクス⇒役割評価

く作業の目的>

マトリクス昇給ガイド適用者には役割評価で査定して昇給運用します。

〈入力のコツ〉

フォームを開くと既に5段階評価が登録されていますので、

このまま使用できます。

7段階に変更、または評価記号を変更可能です。

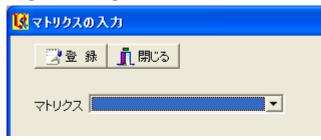
変更後に「登録」ボタンを押して閉じます。

もちろん4段階、3段階も可能です。

3-3. マトリクス作成

メニューバー:マトリクス⇒マトリクス作成

【画面 3-3-1】



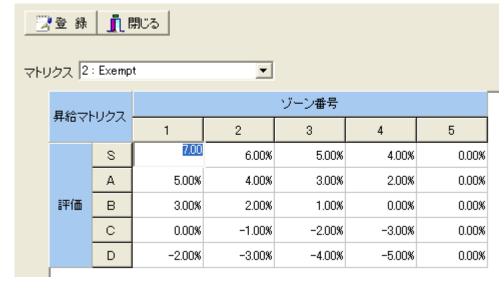
<作業の目的>

3-1 で登録したマトリクスを完成して、「マトリクス昇給ガイド」に仕上げます。

<入力手順>

1) Combo Box から 3-1 で登録した ID を選択します。

【画面 3-3-2】



- 画面 3-3-2 のセル に半角数値を入力し、 Enter を押して次のセ ルに進み、表を完成し ます。
- 3) 最後に [登録] ボ タンを押して画面を閉 じます。

3-4. バンド名称登録

メニューバー:マトリクス⇒バンド名称登録

【画面 3-4-1】

| ҈ 登録 🗶 | 削除 🚫 キャンセル 🎚 | 肌でる | H 4 |
|--------|---------------|------------|----------------|
| バンドID | <u> </u> | • | |
| バンド名和 | 陈 | | |
| 定義 | | | |
| マトリクス | 2 | ▼ | ß |
| | | | |
| バンドロ | バンド名称 | 定 義 | マトリクス |
| 1 | ジュニア | 研究者の見習い | 1 : Non-Exempt |
| 2 | シニア | 研究者 | 2 : Exempt |
| 3 | 管理職 | 主任研究者 | 2 : Exempt |
| 4 | 上級管理職 | 兼務役員以上のクラス | 2 : Exempt |

<作業の目的>

バンド≒役割等級の ID と名称を登録し、マトリクスを選択します。

2個以上のマトリクスで昇給運用できるシステムですから、

役割等級に対応したマトリクスを設定できます。

<入力手順>

- 1) Text Box「バンド ID」に半角数値
- 2) Text Box「バンド名称」
- 3) ☆Text Box「定義」
- 4) Combo Box「マトリクス」から選択します。

3-5. バンドの作成

メニューバー:マトリクス⇒バンド作成

【ご注意】[バンド作成] フォームを開いたときは [基本設定] パネルにカーソルがありますが、 下記の順に入力します。

<パネル② 「バンド作成」の操作手順>

- 1) 半角数値で「基準金額」を入力します。
- 2) 同様に「下限」と「上限」を入力します。
- 3) 水色のテキストボックスが計算されていることを確認します。

<パネル① 「基本設定」の操作手順>

- 1) 「タイトル」を入力します。
- 2) 「丸め方」を選択します。

【画面 3-5-1】

| | ▶ キャンセル 割 ハシト*明細 *作成 ゾーン作成 | 🔼 パントサラフ | ∭ 閉じる | | | |
|---------------|---------------------------------|----------|---------|-------|-------|--------|
| RD NOF | 名称 ゾーン | 数 下限(%) | 基準金額 | 上限(%) | スプレッド | レンジ |
| 1 <u>5</u> 22 | :7 3 | -20 | 100,000 | 20 | 1.50 | 13,330 |
| 2 シニフ | 7 5 | -25 | 150,000 | 25 | 1.70 | 15,000 |
| 3 管理 | ₩ 5 | -30 | 200,000 | 30 | 1.90 | 24,000 |
| 4 上級 | 管理職 5 | -30 | 250,000 | 30 | 1.90 | 30,000 |

<パネル③ 「ゾーン作成」の操作手順>

金額は各ゾーン区間が均等になるように自動的に計算されます。

☑ コピー _____ 閉じる

いわゆる非対称型のゾーン区間を設定するときは、Text Box に上書き入力します。

【画面 3-5-2】

| 基本設定 バンド作成 ゾーン作成 | | | K | |
|-------------------|---------|----------------------|-----------------|-----------------|
| ID バンド名称 | ゾーン数 下阶 | 艮賃金 ゾーンI | ゾーンΙ ゾーンΙΙ | ゾーンⅣ ゾーン♡ |
| 1 _{ジュニア} | 3 | 30,000 93,330 | 106,660 119,990 | |
| 2 シニア | 5 1 | 12,500 127,500 | 142,500 157,500 | 172,500 187,500 |
| 3 管理職 | 5 1 | 40,000 164,000 | 188,000 212,000 | 236,000 260,000 |
| 4 上級管理職 | 5 1 | 75,000 205,000 | 235,000 265,000 | 295,000 325,000 |

<ゾーン区画の確認>

画面 3-5-1 で[バンド明細] ボタンをクリックして、バ ンド毎のゾーン区画を確認 します。

画面 3-5-3 で [コピー] ボタンを押すと、他のアプリケーションに貼り付けできます。

【画面 3-5-3】

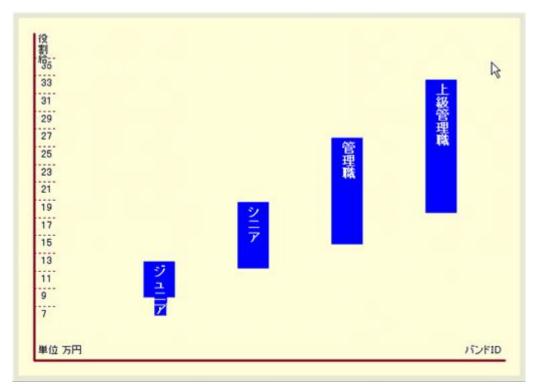
| | | | バンド | 名称 | |
|-------|-----|---------|---------|---------|---------|
| | | ジュニア | シニア | 管理職 | 上級管理職 |
| ゾーン番号 | 基準額 | 100,000 | 150,000 | 200,000 | 250,000 |
| | 下限 | 90,000 | 112,500 | 140,000 | 175,000 |
| ゾーンI | 上限 | 93,330 | 127,500 | 164,000 | 205,000 |
| | 下限 | 93,330 | 127,500 | 164,000 | 205,000 |
| ゾーンエ | 上限 | 106,660 | 142,500 | 188,000 | 235,000 |
| | 下限 | 106,660 | 142,500 | 188,000 | 235,000 |
| ゾーン皿 | 上限 | 119,990 | 157,500 | 212,000 | 265,000 |
| | 下限 | | 157,500 | 212,000 | 265,000 |
| ゾーンIV | 上限 | | 172,500 | 236,000 | 295,000 |
| | 下限 | | 172,500 | 236,000 | 295,000 |
| ゾーンV | 上限 | | 187,500 | 260,000 | 325,000 |

B

3-6. バンド分析グラフ

メニューバー:マトリクス⇒バンド分析グラフ

<バンドをグラフで確認> 【画面 3-6】



画面 3-5-1 で [バンドグラフ] ボタンをクリックして、バンドの設定を確認します。 上図で [コピー] ボタンを押すと、他のアプリケーションに貼り付けできます。

最後に [登録] ボタンを押して確定します。

第Ⅳ章 グラフィック

【省略】抄本に付き本章は一部省略しています。

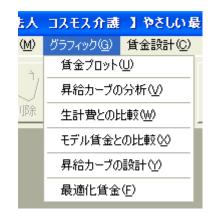
4:グラフィック関係のメニュー

プロット画面の出力と賃金カーブの設計をするセクションです。

このセクションには以下6個のメニューがあります。

| 4 - 1. 賃金プロット基本のプロット画 |
|-----------------------|
|-----------------------|

- 4-2. 昇給カーブの分析 …………曲線で回帰分析します
- 4-3. 生計費との比較 …… 選択した生計費カーブ
- 4-4. モデル賃金との比較 …… 選択したモデル賃金カーブ
- 4-5. 昇給カーブの設計…………自由に描画できるカーブ
- 4-6. 最適化賃金…………………………近似度グラフを出力

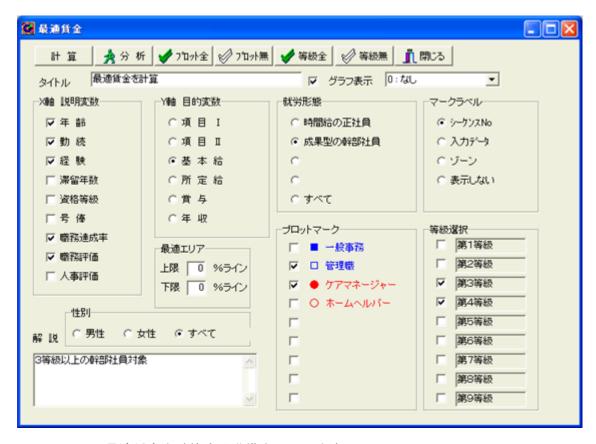


4-6. 最適化賃金

メニューバー:グラフィック⇒最適化賃金

4-6-1 操作パネルの解説

【画面 4-6-1 最適賃金の操作パネル】



☆ここでは、最適賃金を計算する準備をしています。

- 1) X軸から必要なだけ説明変数を選択します。
- 2) Y軸から計算する賃金項目を選択します。
- 3) 出力するプロットマークと等級の範囲、就労形態等を選択します。
- 4) プロットマークは「表示する」を選択します。
- 5) 上端の Text Box「タイトル」にプロット図の見出しを入力します。
- 6) 下端の Text Box「解説」にプロット図の解説を入力します。
- 7) 最後に「計算」ボタンを押すと、画面 4-6-2 が出力します。

4-6-2 最適賃金の計算結果

【画面 4-6-2 最適賃金の計算結果】



☆計算結果の見方と操作の要点について説明します。

- 1) フォーム下端に「非常に良い」と判定が出ていますが、この判定はあくまで目安です。
- 2) ボタン [CSV] を押すと Excel 等からワークシートとして利用できます。
- 3) 本例は基本給を選択してますので、ボタン [最適化] は無効になっています。
- 4) ボタン [リセット] を押すと最適化した賃金項目がリセットされて元に戻ります。 本例の場合は最適化しませんので、リセットは無効です。
- 5) 計算結果は自動的に社員データにコピーされます

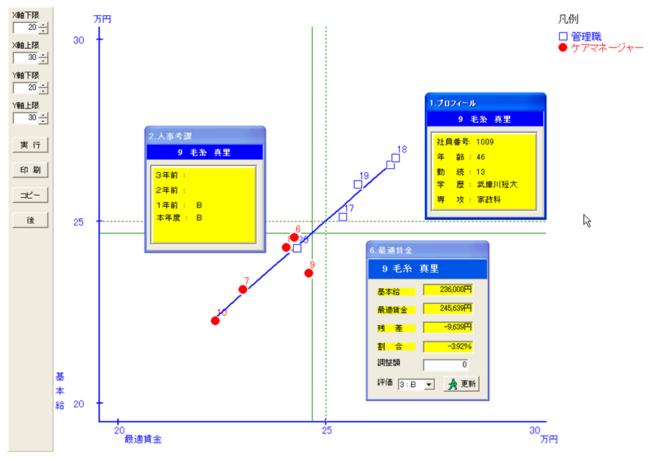
社員データへ コピーが完了 しています。



6) 確認後は一旦閉じて、画面 4-6-1 に戻ります。

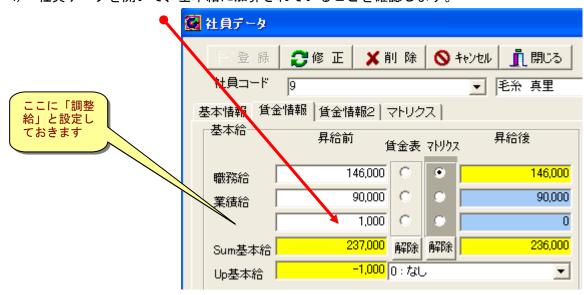
4-6-3 最適賃金のプロット画面

【画面 4-6-3 最適賃金のプロット画面】



☆画面 4-6-1 で [分析] ボタンを押すとプロット画面が出力します。

- 1) 調べたいプロットマークをクリックしてメニューから「最適賃金」を選択します。
- 2) 調整が必要なときはインフォメーション用の InfoBox の「調整額」に入力します。
- 3) InfoBox の [更新] ボタンを押すと、基本給が調整されます。
- 4) 社員データを開いて、基本給に加算されていることを確認します。



第VI章 昇給管理

6:昇給管理に関するメニュー

基本給と諸手当の昇給を決定するセクションです。



このセクションには以下の2個のメニューがあります。

6-1. 昇給管理 入力……………………本年度の昇給を入力し ます

6-2. 年度更新 ……………………本年度の昇給結果を翌 年度に繰り越します

6-1. 昇給管理 入力

メニューバー:昇給管理⇒昇給管理 入力 【画面 6-1-1 パネル① 段階号俸表】

<パネル①の操作説明>

1) リスト「総合評価」を 確認し、必要なら正しい 評価を選択します。

賃金表と連結された賃金 項目では、評語により昇 号数が異なります。

2) 本例ではチェック BOX「昇格する」はスキ ップします。

真上の Text Box 「滞留年 数」を参照して判断しま す。3) Text Box「New 号

俸 | に真上の「Calc 号俸 | と同じ「11」を入力します。

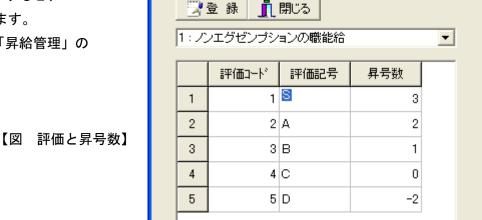


👿 評価の変換

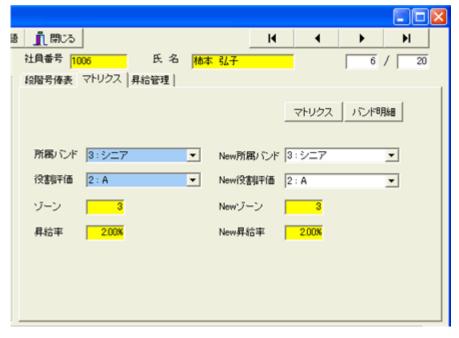
【ご注意】本例では総合評価「A」だから自動的に2号俸 Up して「11」と表示されますが、

ここで「11」と入力しなければ昇給されません。

- 4) [標語] ボタンをクリックすると、 右図で昇号数を確認できます。
- 5) 続いて同じフォームで「昇給管理」の パネルを開きます。



6-1-2 マトリクスのパネル 【画面 6-1-2 パネル② マトリクス】



<パネル②の操作説明>

- 1) 左列は昇給前のバンドと 役割評価ですが、ここは読み込み専用です。
- 2) 右列は昇給後のバンドと 役割評価ですが、ここはリスト から選択して入力します。
- 3) [マトリクス] はグループ単位の昇給結果をマトリクス形式で出力します。
- 4) [バンド明細] はバンドごと のゾーン範囲を出力します。
- 5) 続いて「昇給管理」パネル へ移動します。

6-1-3 昇給管理のパネル 【画面 6-1-3 パネル③ 昇給管理】 Up 昇給前 昇給後 1) 本例では、「年齢 年齢給 142,500 Π 142,500 給」は昇給しませんの 職能給 132,710 2,100 134,810 でUpのText Box は「0」 0 0 0 のままです。 275,210 2.100 277,310 Suml基本給 2) 「職能給」は1号 15,000 0 15,000 家族手当 俸昇給した結果として、 住宅手当 15.000 0 15.000 「2.100円」昇給されて 0 役職手当 10,000 10,000 います。 10 調整手当 10.000 10.000 3) 本例では諸手当は 0 n 資格手当 Π 昇給しませんので、 Sum手 当 50,000 50,000 0 昇給前のと同じ金額を Total所定給 325,210 2,100 327,310 入力します。

4) 最後に [登録] ボタンで確定します。このフォーム全体で最初から何も入力 or 変更しなかった ときは確定する必要ありません。

【操作のポイント】白い Text Box は変更入力可能です。

以下余白